

保育だより

2026年 10月号

社会福祉法人いずみ会

幼保連携型認定こども園

つるた乳幼児園

園長 福澤 紀子

北津軽郡鶴田町大字鶴田字相原68-2

電話 0173 (22) 3 7 6 5

創立55年 みんなのころろにつながる作品展

～ 森といずみとにじの園 ～

おはなのくにコーディネーター保育教諭 敦賀 裕子

朝夕の風がひんやりと感じられ、木々の葉や木の実からも秋の訪れを感じる季節となりました。子どもたちは、散歩や園庭で風に揺れる葉や落葉の音など、身近な自然の変化を楽しんでいます。こうした自然との出会いは、子どもたちの「おもしろい」「どうしてだろう」という心を育ててくれます。

創立55年を迎える今年の作品展。0歳児のお部屋では日々の教育・保育の中で、子どもたちが身近な自然や様々な素材に触れ、「なんだろう」「おもしろい」と感じる瞬間を大切にしています。最近では、「影」に気付いて「影」に興味を持ち、一緒に遊んでいます。子どもたちの目に映るもの、手に触れるものとの出会いを楽しんでいます。まだ言葉では十分に表せない子どもたちの思いを汲みとり「〇〇だね」と言葉にかえる応答的な関わりをし、愛着関係の構築、言葉の獲得へとつなげています。

55年を振り返ると、家族で出かけた先から「これ、作品に使いそう」と、自然物や身近な素材を持ってきた子どもたちの姿がありました。また、大人になった修了園児が親となって園を訪れ、「昔はこんなことをしたよ」と幼い頃の思い出を語っ

てくれることもあります。子どもたちの経験や思いが、人から人へとつながり、受け継がれていることに、55年という園の歴史を感じます。

作品展は、子どもたちの「今」を見ていただく場であると同時に、園が大切にしてきた思いを未来へつないでいく場でもあります。一人一人の「やってみたい」から生まれる表現を、ぜひ温かく見守っていただければと思います。ご家庭でも、日々の生活の中で見つけた自然や身近なものに目を向けて、子どもたちの「なぜ?」「おもしろい!」という気持ちを一緒に楽しんでいただけたら嬉しく思います。55年の歩みに感謝しながら、子どもたちとともに作品展を楽しんでいきたいと思っています。



◆ 報 告 ◆

◎第3回保育学級 8月28日(金)
19名の参加でした。

◆ 行 事 ◆

◎秋の遠足(ことり・すみれ) 10月1日(休)
実施にあたって、熊の出没情報を収集して
検討していきます。

◎ヤマイシ食育教室 10月2日(金)
テーマ：食材を知ろう～大豆の変身～
ヤマイシの方が園に来て、15分ほどお話
をして下さいます。

◎幼児教育講座 鶴保連主催 10月5日(月)
あおもり食育サポーターによる食育のお話
※うぐいす、かなりやさんが参加します。

◎歯 科 健 診 10月9日(金) 13:00～

◎内 科 健 診 10月20日(火) 13:50～

◎作 品 展 示 10月26日(月)～31日(土)

◎第4回保育学校 10月30日(金) 18:00～

● 子育て支援センターより ●

◎10月のリフレッシュタイム(毎週水曜日)
7日、14日、21日、28日

